

新人セラピストが潜入！

1日密着!!
気になるバックヤードを体験！

憧れのセラピストの仕事を 間近で知る、学ぶ。

セラピストとして働く人にとって、業界の第一線で活躍する一流のセラピストは憧れの存在。でも、その違いはどこにあるのでしょうか？ 一流セラピストの取り組み方とマインドを知るために、4000人以上のセラピスト育成に携わってきた施術家・関口智子さんの仕事場に、新人セラピスト・柚子が1日密着取材しました！

取材・文◎小澤由美子

セラピストは自分そのものが
表現されていく「人間業」

「おはようございます。今日はよろしくお願いいたします」。取材時に生徒さんの送迎のため、最寄り駅まで車でいらした関口智子さん。すらりと伸びたきれいな立ち姿と、大きくキラキラした瞳が印象的でした。車の中での会話から、自宅サロンに招き入れるまでの、その一つひとつの言葉遣いや立ち

振る舞いには品が漂います。

「セラピストは、自分そのものが表現される『人間業』だと私は考えています。生活の中で、いつもガチャガチャと物音を立てたり、何かに対して雑な触り方をしていると、お客さまへの接客や施術にも影響します。施術は1時間や120分など長時間コースが少なくないので、集中力が必要です。その集中力を維持するためには、普段から瞑想や呼吸法を取り入れるなど、自分

と向き合う時間が必要だと思っています」

お客さまに接する際の仕事が『本番』だとしたら、セラピストの日常生活は、『訓練』だと語ります。関口さんが実践する心の整え方のひとつが、呼吸法と瞑想。朝起きて、身支度や講座の準備を終えたら、毎朝15分行います。実践するのは、3...2...15（3秒吐く、2秒間を置く、15秒吐く）の呼吸法です。



Profile

関口智子さん

せきぐちともこ 大手リラクゼーションスクールにてスタッフ育成インストラクターとして勤務後、癒しの自宅サロン「Natural Happy」のセラピストとして独立。『受ける禅』として、「ジャパニーズオイルセラピー-Atsu」を開発。現在まで述べ4,000人のセラピストを育成した。「小さなサロン普及協会」主催。https://www.atsu-japan.com/